



アスリート先生 学校派遣事業

# Challengers Academy 実施レポート

港区立青山小学校 5・6年生  
2024年11月7日(木)  
中川聡乃先生(バスケットボール)

# チャレンジャーズアカデミー 実施にあたって

IMD(国際経営開発研究所)が発表した「世界競争力年鑑2024」によると、ビジネス分野における近年の日本の『世界競争力』は大幅に落ちており、今後、日本ではグローバル社会で活躍できる人材の育成が急務であるといえます。

そこで、海外を経験したアスリートが、日本の未来を担う子どもたちへ自身の経験や想いを子どもたちに伝えることで、夢やチャレンジ精神をもつことの大切さを知ってもらい、国際社会での活躍を意識してもらえるよう、アスリート先生による学校授業プログラム「チャレンジャーズアカデミー」を立ち上げました。

いくつもの困難を乗り越え、自身の夢や目標に向かい、世界を舞台に挑戦してきたアスリートたち「チャレンジャーズ」のこぼれ話や経験は、子どもたちに気づきをもたらし、勇気を与える力があると信じています。

同時に、学校教諭の指導力向上や働き方改革の一助となること、また、アスリート達の社会貢献の場となり、セカンドキャリア支援となる仕組みを生み出すことを目指します。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。

「チャレンジャーズアカデミー」での“触れ合いによる学び”が、今後生徒の皆さんが国際社会に出てグローバルな歩みを進めていく中で活かせる資質や能力を育むとともに、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送り健康的な人生を送るきっかけとなることを期待しています。

# 1. 実施概要

【事業名】 アスリート先生 学校派遣事業

【運営委託】 一般社団法人FELICEスポーツクラブ

【主催】 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

【日程】 2024年11月7日(木)

【実施校】 東京都港区立青山小学校（南青山2丁目21-2）

【実施クラス】 5年1組 40名、6年1組 28名、合計：68名（2クラス）

【目的】 海外を経験したことのある元アスリート＝「チャレンジャー先生」が教師役となり運動と講義の授業を実施し、子どもたちへアスリート自身が海外に出たきっかけや、どのように語学やコミュニケーション能力を身に付けたのか、また海外で遭遇した困難をどう乗り越えたかなど、自身の経験を伝えることで、子どもたちが国際感覚を養い、将来世界を舞台に活躍することを意識するきっかけをつくる

【チャレンジャー先生】 中川 聡乃 先生（元バスケットボール女子日本代表）

【アシスタント講師】 松原 良香（元アトランタ五輪サッカー日本代表）

【子どもたちに身に付けてほしい要素】

- 語学力、コミュニケーション能力
- 自己主張力、自立心
- グローバルな視点・多様性のある社会の創造など、新しい時代に求められる資質や能力
- スポーツを好きになり、生涯にわたり健康的で豊かなスポーツライフを送るようになること

【実施方法】 運動と講義の2コマ1セットの授業を、クラス単位で実施

- 運動の時間 チャレンジャー先生自身の競技・トレーニングを実践し、その競技に親しむとともに、スポーツの楽しさを知ってもらう
- 講義の時間 目標を達成させるためにしたこと、海外での困難にどう乗り越えたかなど、先生自身の経験や想いを伝え、生徒に国際社会で活動することについて考えてもらう

| 時限 | 内容  | 時間          | 実施時間 | 場所        | 実施クラス | クラス人数<br>(特別支援)              |
|----|-----|-------------|------|-----------|-------|------------------------------|
| 1  | バスケ | 8:45～9:30   | 45分  | 体育館3F     | 5年1組  | 男子21名(3)<br>女子19名(0)<br>計40名 |
| 2  | 講義  | 9:35～10:20  | 45分  | 教室<br>2F  |       |                              |
| 3  | バスケ | 10:40～11:25 | 45分  | 体育館<br>3F | 6年1組  | 男子14名(4)<br>女子14名(1)<br>計28名 |
| 4  | 講義  | 11:30～12:15 | 45分  | 教室<br>2F  |       |                              |

## 2. 授業構成（運動の時間）

※45分

### ①自己紹介～授業の目的を確認（5分）

- ・自己紹介(名前、競技歴、今の活動など)
- ・今日の授業の目的を伝える



### ②準備運動（10分）

- ・ウォーミングアップ、ストレッチ、体操など実施
- ※自身の競技の特性を活かしたウォーミングアップを行う
- ※怪我予防のため、動きの効能・目的を伝える



### ③主運動（25分）

- ・目標に向かって仲間と協力し合い努力すること、その達成感とスポーツの楽しさを感じてもらえるよう、効果的に声掛けをする
- ※目標設定と作戦会議の時間を設ける



### ④まとめ（5分）

- ・子どもたちが良く考えたこと、努力をした点を評価する
- ・次の授業は教室のため、移動を促す



### ⑤挨拶・着替え（休み時間5分間）

#### ※授業の最初や最後

- アスリート先生による競技のパフォーマンスを披露
- ⇒子どもたちに、世界で戦ったアスリートの凄さを知ってもらう



## 3. 授業構成（講義の時間） ※45分

### ① 自己紹介・自身の国際経験の話（25分）

#### 自己紹介

- ・選手時代の写真やスライド、VTR映像があれば、用いて自己紹介
- ・簡単なプロフィールを配布または黒板に掲示
- ・現役時代にプレーした国、遠征で滞在した国の情報



#### 国際経験の話

以下のテーマのうち**最低2つ**を入れて話します。

- ◆ 海外に出たきっかけ、現地でどのようにコミュニケーションをとれるようになったのか
- ◆ 海外で遭遇した困難とは？それをどう乗り越えたか？
- ◆ 日本と海外の違い、海外でびっくりしたこと
- ◆ 海外を経験してよかったこと、どのような強みができたか
- ◆ 海外に出て感じた日本の良いところ、もっとこうした方が良いと思うところ

### ② グループワーク・発表（10分）

①で先生の話聞いたうえで、子どもたちが感じたことを話し合い、国際社会に出ること、語学の習得、将来の目標など、自身のことにあてはめ考えられるように気づきを与えることを目的とします。

グループに分かれ、それぞれ感じたことを出し合う(5分)

↓  
各グループの代表者が話し合ったことをまとめ発表(5分)



### ③ 授業のまとめ（5分）

各グループの発表を受け、チャレンジャー先生が生徒へのメッセージ、アドバイスなど、この授業で一番伝えたかったことを最後に伝えます。



### ④ 記念撮影（5分）

# 4.授業レポート① 5年1組 運動

【日 程】 2024年11月7日(木) 1時間目

【チャレンジャー先生】 中川聡乃先生(元バスケットボール日本代表)

## 自己紹介・準備運動



先生の自己紹介と授業の目的を共有。バスケットボールの基本となるドリブル・シュートを教え、あとはみんなで楽しくバスケットに親しむことを伝えました。



2人1組での対面鬼ごっこでは、相手の背中を触ろうとする側と、触られないように逃げる側と、バスケットの基本動作も取り入れた運動をして、身体を温めました。

## 主運動 (じゃんけんドリブル・シュート練習・ゲーム)



「ドリブルじゃんけん」ドリブルをしながらコースを進み、中継時点で出会った相手とじゃんけんをし、勝ったら次へ進めるゲーム。楽しむ要素が入ったドリブル練習を行いました。



4箇所のゴールをまわり、シュートを打つ練習。ゴールに入っても入らなくても、まずはシュートを打つ感覚をつかみます。ゴールが決まるとみんな嬉しそうにしていました。



運動の授業の最後は、運動場を2面に分けミニゲームを実施。女子も男子も関係なく、みんな積極的にボールを追い、チームとして勝つために協力しながらゲームに臨んでいました。



【今後に向けて】 45分と限られた時間の中で、準備運動、ドリブル、シュート、試合、とバスケットボールの基本を満遍なく体験してもらえました。今後は講師の技・プレーも見せて凄さを実感してもらえるコーナーを設けるようにします。

# 4.授業レポート② 5年1組 講義

【日 程】 2024年11月7日(木) 2時間目

【チャレンジャー先生】 中川聡乃先生(元バスケットボール日本代表)

## チャレンジャーズ先生の経歴・海外での挑戦の話



中川先生の初めての海外体験は、小学生の頃、そろばん塾の日本代表としてアメリカに渡ること为目标に定め、見事達成させたことでした。その後も、バスケットボールで「日本一になる」という夢を叶えるために学校を転校し、日本一を成し遂げたことなど、常に目標を定め達成させるために行動を起こしてきた中川先生の姿勢は、子どもたちに刺激を与えてくれました。

## グループワーク、発表



バスケットボールや講義の授業を通して、感じたこと、大切にと思ったことをグループで話し合い、代表者に発表してもらいました。現役時代に怪我で挫折をしても、周りの人の励ましやバスケットをしたいという熱い想いにより復帰したことや、常に行動力のある中川先生の前向きな姿勢が生徒たちの印象に残ったようでした。



生徒からは、「経験することで夢や目標が持てるんだなと思った」「外国に行くことで夢がもっと広がるということがよかった」「学生時代の経験が将来のためになることがわかった」など発表がありました。最後に中川先生より、「目標達成に向け諦めない気持ちを持つこと、自分を信じることの大切さ」「経験すること全て無駄ではなく、自分のためになる」と生徒へ伝えました。

【今後に向けて】45分授業の中で、子どもたちに伝えたいメッセージを明確にし、ポイントを絞って海外経験や伝えたい要点を話すことが重要だと感じました。

# 4.授業レポート③ 6年1組 運動

【日程】2024年11月7日(木) 3時間目

【チャレンジャー先生】中川聡乃先生(元バスケットボール日本代表)

## 自己紹介・準備運動



先生の自己紹介と、「世界で活躍する国際人になろう」という授業の趣旨と、今回の授業ではバスケットボールに親しむことも子どもたちに伝えました。



二人一組での対面鬼ごっこには、生徒の皆さん積極的に取り組んでいました。多くの生徒が腕立て姿勢でも相手にタッチされないよう激しく動き、身体を動かさず準備ができました。

## 主運動 (じゃんけんドリブル・シュート練習・ゲーム)



初めてドリブルをする生徒も多かったようですが、ドリブルをしながら進み、さらにはじゃんけんをすることで、自然とボールから目を離しドリブルが出来るようになってきている生徒もいました。じゃんけんに勝つだけでなく、負けた人が次に進めるルールも取り入れ、より多くの生徒がやる気を出し楽しめるように工夫されていました。



男女混合でチーム分けをしてミニゲームを行いました。経験に関係なく、全員でパスを回し、懸命にボールを追いかけ、ゴールを狙う様子が印象的で、クラスの絆を感じることができました。



【今後に向けて】事前に試合のチーム分けを頼んでおいたおかげで、無駄な時間を使わずスムーズな進行をすることができました。空気が抜けているボールがあったので、その後の授業では、事前に確認をするようにしました。

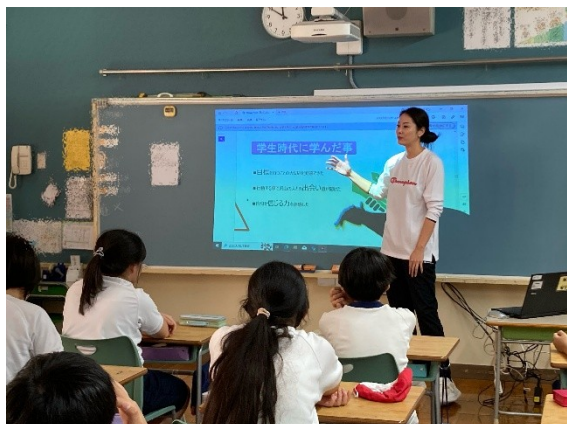


# 4.授業レポート④ 6年1組 講義

【日 程】 2024年11月7日(木) 4時間目

【チャレンジャー先生】 中川聡乃先生(元バスケットボール日本代表)

## チャレンジャーズ先生の経歴・海外での挑戦の話



社会人チームに所属していた時は、9年間は怪我に悩まれ、大好きなバスケットができないことや、チームの一員として何もできない自分が苦しく、自信を失いふさぎ込むようになったそうです。そんなどん底から立ち直ることができたのは、目標をもつことを休んだり、家族と毎日コミュニケーションをとって心の支えになってもらったりして、心身が回復したからだそうです。

## グループワーク、発表



サッカーや講義の授業を通して、感じたこと、印象に残ったことをグループで話し合い、代表者に発表してもらいました。



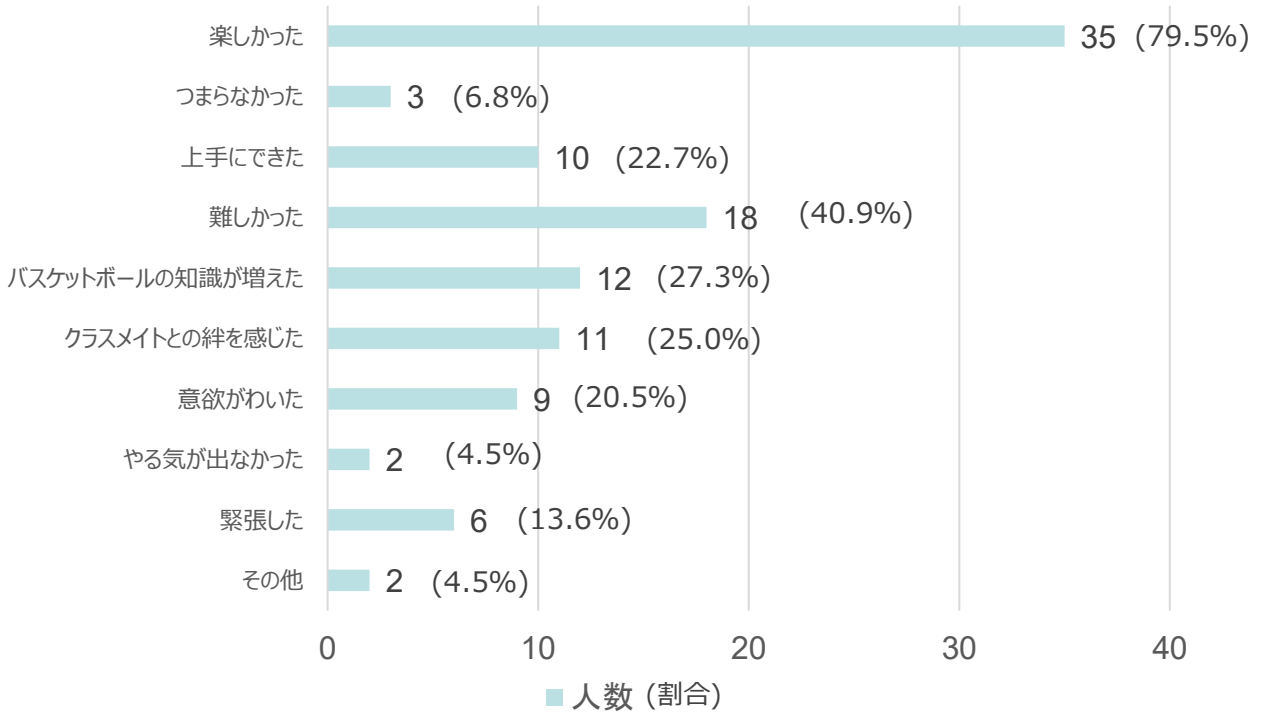
生徒からは、「色々な海外経験をするとういことが分かった」「挫折してもそれを経験として糧にすれば、人生よい方向に行くんだなと思った」「何でも体験すること、行動に移すことが大事だなと思った」などと発表がありました。中川先生の挫折しながらもそれも受け入れ、ポジティブで前向きに何事にも取り組む姿勢に、生徒たちは刺激を受けたようでした。

【今後に向けて】「海外で活躍すること」「国際人として必要なこと」をより子どもたちへ伝わる授業にするために、講義で話す内容を見直したり、または海外在住経験のある講師を選定するなど、工夫が必要だと感じました。

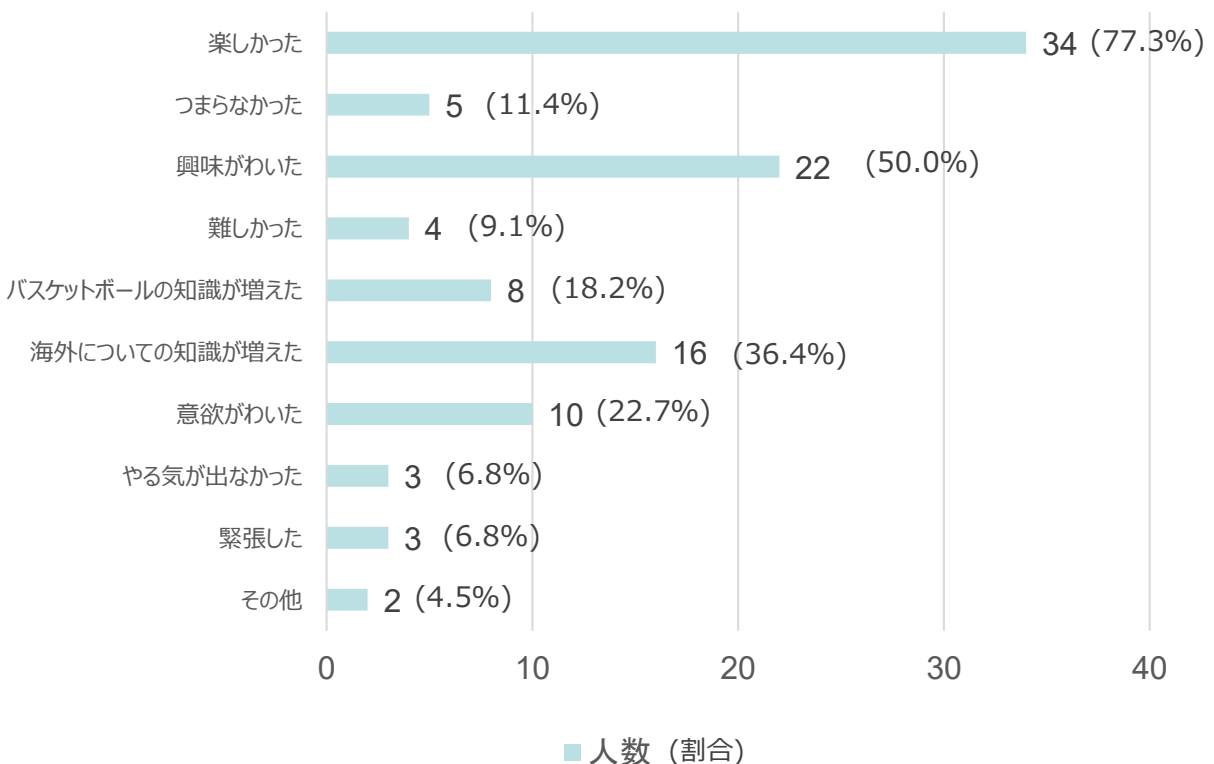
# 5. 受講者アンケートの結果①

回答者 5年生：24名、6年生：20名、合計44名

## Q1 バスケットボールの授業の感想（複数回答可） ※必須回答



## Q2 講義の授業の感想（複数回答可） ※必須回答

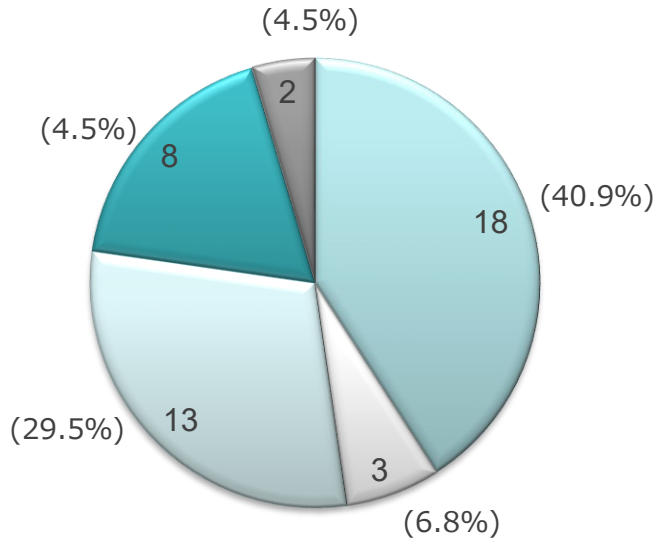


## 5. 受講者アンケートの結果②

回答者 5年生：24名、6年生：20名、合計44名

### Q3 あなたは将来または近い未来の夢や目標をもっていますか？（どれか一つ） ※必須回答

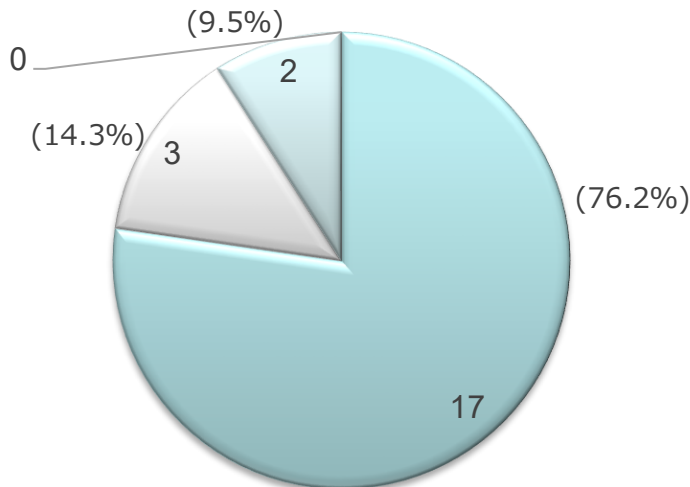
人数(割合)



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない
- わからない

### Q4 (将来または近い未来の夢・目標がある方) 達成に向けて取り組んでいることはありますか。

人数(割合)



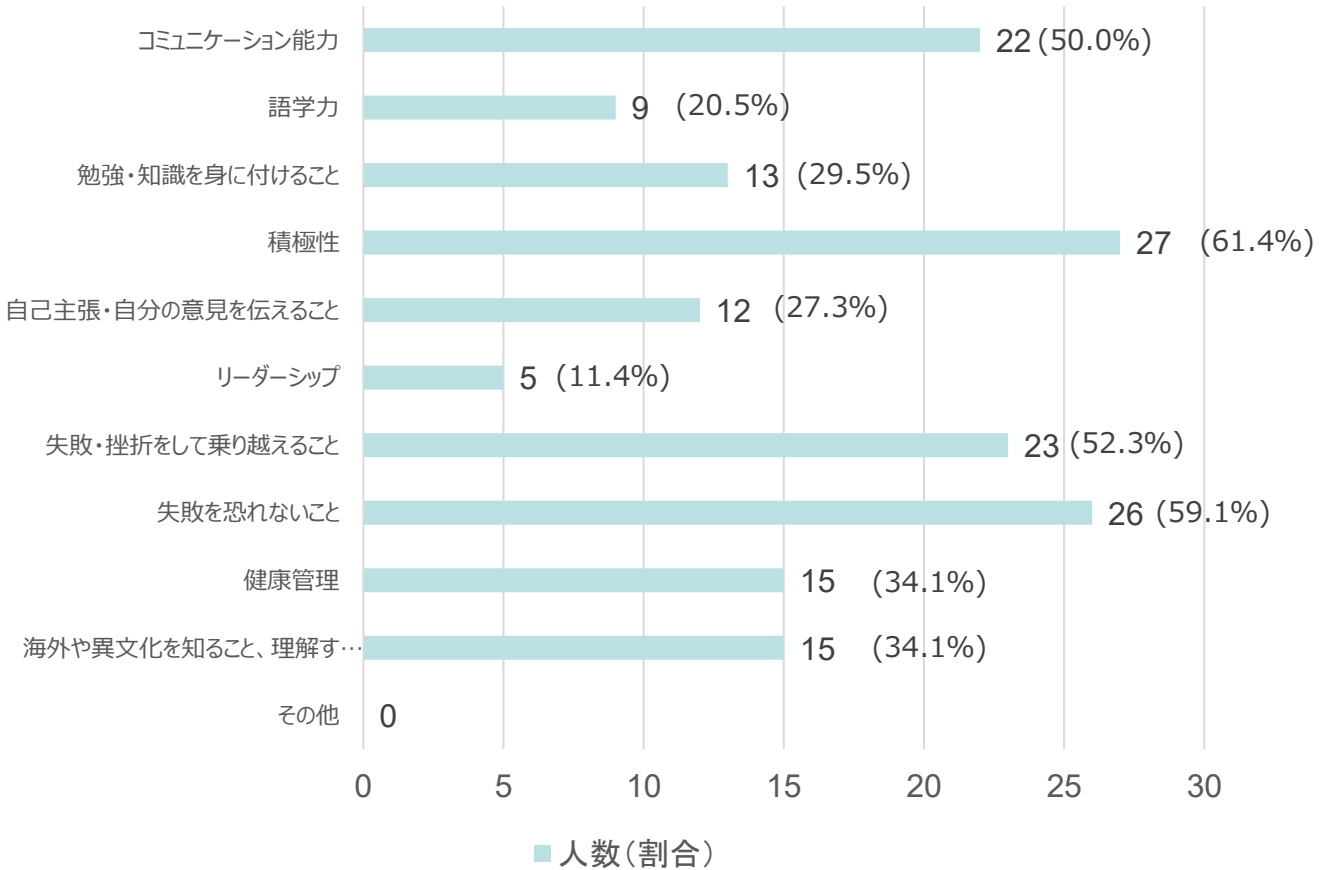
- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

# 5. 受講者アンケートの結果③

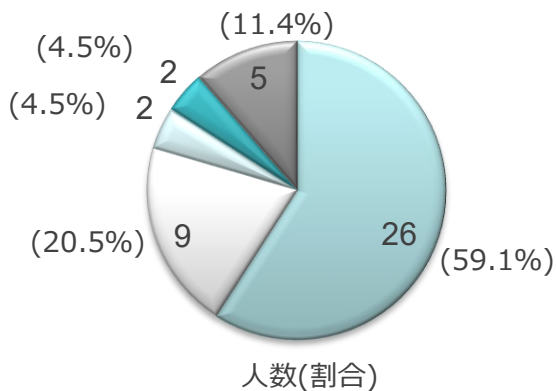


回答者 5年生：24名、6年生：20名、合計44名

## Q5 本日の授業を受けて、大切だと思ったことは何ですか?(複数回答可) ※必須回答

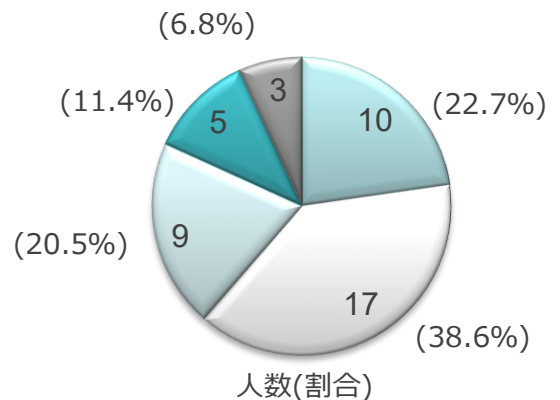


## Q6 スポーツは好きですか?



- 好き
- どちらかという好き
- どちらでもない
- どちらかという嫌い
- 嫌い

## Q7 英語や外国語の勉強は好きですか?



- 好き
- どちらかという好き
- どちらでもない
- どちらかという嫌い
- 嫌い

## 5. 受講者アンケートの結果④

回答者 5年生：24名、6年生：20名、合計44名

### Q8 中川先生へメッセージ（一部抜粋）

失敗しても別の形でバスケットに関わろうとしているところがすごくかっこいいと思いました。私も見習いたいです。

何があっても諦めなかったのがすごいと思った。

バスケットが前より好きになりました。ありがとうございます。

体験することや行動に移すことが大切だと分かりました。

挫折してもあきらめないことの勇気が湧きました。

失敗を恐れないことが大切だと思いました。

これからも挑戦をつづけ、夢に向かって頑張りたいと思います。

将来バスケットにも挑戦したい。

努力は必ず身になることを実行したいです。

諦めないで夢を達成したのがすごかったです。

## 6. 総括・今後の課題

■ 学校の担当者と担任教諭との連携があまりとれておらず、事前のお願いが伝わっていないこともあったので、実施前の依頼事項を丁寧をお願いしておくことが大切だと感じた。

■ 中川聡乃先生は、バスケットボールの指導も経験があったため、子どもたちへの声掛けや距離感もうまくとりながら指導ができ、体育の授業の進行はスムーズに行うことができた。

■ 講義の授業では、中川先生より誰でも起こりうる身近な事例や経験を通して、行動を起こすことの重要性や困難を乗り越えることの話をする事により、子どもたちにとってためになるメッセージを伝えられた一方で、海外での実体験や、語学にまつわるエピソードは薄かったため、本事業での「国際人の育成」という要素を伝えるには工夫が必要だと感じた。

例：「海外で活躍するために必要な要素」「語学の重要性」をずばり答えてもらう、講師の選定要素として、海外を拠点にしてプレー経験を条件とする、など



# 「感謝」経験全てが財産



一般社団法人FELICEスポーツクラブ